☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０２０

丹波新聞　令和２年１０月１５日（木）

高３生応援の花火253発

ＪＣ企画　大輪を目に焼き付け

新型コロナウイルスにより、様々な制限の中で高校最後の年を過ごしている3年生を応援する花火大会「想い打ち上げドライブイン花火大会」が10日、春日総合運動公園で開かれ、色鮮やかな253発が秋の夜空を彩った。丹波市内の高校3年生らは会場に止めた保護者の車の中で鑑賞し、大輪を目に焼き付けながら思い出の一ページを胸に刻んでいた。丹波青年会議所（ＪＣ）の企画。

進学や就職などで羽ばたく生徒の背中を押そうと、ＪＣの夢丹波創造委員会（高見忠寿委員長）と青少年育成委員会（貫吉直委員長）がメインで企画。地域ＦＭ「805たんば」とタイアップし、会場から花火の様子をラジオで生中継した。

約150台が同公園多目的グラウンドに駐車。ラジオでは、ＪＣメンバーと、氷上西高校まちづくり部の井上連君（3年）と蘆田天汰君（1年）が進行役を務め、来場者はラジオを聴きながら夜空を見上げた。

事前に高校生から募ったメッセージをラジオで読み上げた後に打ち上げた。「国家試験に合格できますように」などの夢や、「来年こそキャンプしたい」などコロナでできなかったことをしたためたものも。「お母さん、お弁当を作ってくれてありがとう」といった感謝のメッセージもあった。

来場した三方菜摘さん（氷上高）は、「いつもと違う経験ができた年だった。来年は自分のやりたいことができる一年にしたい」と思いを語った。

花火の費用は、インターネット上で資金を募るクラウドファンディングで支援を呼び掛けた。

高校３年生を応援する打ち上げ花火。来場者は車の中から楽しんだ＝春日町下三井庄で